※令和８年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	探求　論理国語（桐原書店）						
副教材等	・『大学入学共通テスト対応版　論読　評論文』 ・『大学入試　国語頻出問題 1200　五訂版』（いいずな書店） ・『新訂版　常用国語便覧』（浜島書店） ・『高校生のための語彙＋漢字 2000』（筑摩書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活では読む機会の少ない、さまざまな文章に触れることで、読解力を向上させるだけではなく、批判的に読み進めたり、多角的な視点から物事を捉えたりする力を身につけましょう。
・書くことの活動を通して、論理的に考え、より分かりやすく表現する力を身につけましょう。
・授業を受ける際は、指示されたことだけに取り組むのではなく、分からない語句の意味を調べるなど、積極的に学習に取り組み、自分で気づいたことはノートに書きとめるなどして、理解を深めましょう。
・副教材などを効果的に用いることで、授業で学んだ知識を深め、自学自習の習慣を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・多様なものの見方、考え方・感じ方に触れ、豊かな感性を身につけるとともに、物事に対する的確な判断力を身につけ、物事を俯瞰的に捉えられるようになる。
・自ら進んで学び、考える意欲を持ち、今後の社会生活の中で活かせる国語力を身につける。
・読解力の基礎となる語彙や漢字の知識を定着させることに加え、よりよく表現するために必要な技術も身につけ、自身の意見を論理的に表現できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	書くこと、読むことの各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力も養うことで、他者と伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げ深めることができる。	言語が持つ価値を理解するとともに、生涯に渡り読書に親しみ、自己を向上させることで、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けることができる。

※令和８年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論Ⅰ―つながりの中で ［教材］ 「いのちは誰のものか」 （鷲田清一）	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b［ 読 ］：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：論理の展開をたどり、要旨を的確に捉えたうえで「いのちは誰のものか」について考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	評論Ⅱ―言葉の可能性 ［教材］ 「行動としての話し言葉」 （竹内敏晴）	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について学び、評論の基本的な読み方を理解している。 b［ 書 ］：言語の働きについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：本文内容を的確に把握し、行動としての話し言葉という意味を捉え、自分自身の話し言葉を充実させようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	評論Ⅳ―テクノロジーの開く世界 ［教材］ 「ロボットは心を持つか」 （黒崎政男）	a：評論を読解するために必要な語句の量を増やし、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b［ 読 ］：本文の内容に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：論理の展開を的確に捉え、要旨を把握するとともに、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	評論解析 A-1 ［教材］ 「科学と市民」 （池内了）	a：話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかみ、指示表現が指す内容を明らかにすることで、本文内容を的確に捉えている。 b［ 書 ］：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握してまとめている。 c：本文内容の正しい理解を踏まえて、科学とはどのようなものか、筆者の主要な見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 課題	課題
二学期	評論Ⅳ―テクノロジーの開く世界 ［教材］ 「芸術も科学も『別世界』を見せる」 （岡田暁生）	a：文や文章の効果的な組立て方などについて学び、対比関係に注目して、本文の論理構造を理解する。 b［ 読 ］：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、最先端の科学技術についての情報を多角的に収集したうえで、考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート

※令和８年度以降入学生用

	論文を読む ［教材］ 「変身に伴う快楽と恐れ―『山月記』を通じて （宮原浩二郎）	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 b［ 読 ］：内容や構成、論理の展開を捉え、論点を明確にしながら、変身についての筆者の考えを把握している。 c：論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解しようとしている。 また、引用された小説の内容に関心をもち、進んで読んだり、作者などに関して調べたりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	評論Ⅳ―テクノロジーの開く世界 ［教材］ 「ドローン兵器と SNS」 （大山顕）	a：評論を読解するために必要な語句の量を増やし、効果的な段落の構造や論の形式などについて理解を深めている。 b［ 読 ］：本文における具体例をもとに、内容や構成を的確に捉え、多様な論点や価値観と結び付けて考えている。 c：資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、要旨を把握したうえで「目的を遂行するために大局的な思想をなおざりにしてしまう」ことについて考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	評論Ⅴ―共同体から市民社会へ ［教材］ 「暴力はどこからきたか」 （山極寿一）	a：評論を読解するために必要な語句の量を増やし、効果的な段落の構造や論の形式などについて理解を深めている。 b［ 書 ］：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、多角的な視点や価値観と結び付けたうえで考え、自分の意見を整理し、立場を明確にしている。 c：情報の妥当性や信頼性を吟味し、評論の要旨を的確に捉え、戦争を起こすようになった原因や共同体のあり方について考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	評論解析 A-3 ［教材］ 「『もどかしさ』の融合」 （佐佐木幸綱）	a：文章における具体抽象の区別、効果的な表現について理解している。 b［ 書 ］：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文内容の正しい理解を踏まえて、読者と作者の関係についての筆者の主要な見解を、わかりやすく丁寧にまとめようとしている	定期考査	定期考査 課題	課題
	評論解析 A-4 ［教材］ 「『可能性』としての貨幣」 （西部忠）	a：論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむとともに、接続表現から文脈を捉え、論理展開を把握する。 b［ 書 ］：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文内容の正しい理解を踏まえて、「貨幣」の可能性についての筆者の主要な見解を、わかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 課題	課題
	評論解析 B-2 ［教材］ 「『資本』の出現」 （大澤真幸）	a：指示表現が指す内容を明らかにすることで、本文内容を的確に捉えるとともに、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 b［ 書 ］：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文内容の正しい理解を踏まえて、資本主義の特徴についての筆者の見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 課題	課題

※令和８年度以降入学生用

三学期	評論Ⅴ―共同体から市民社会へ ［教材］ 「「である」ことと「する」こと」 （丸山真男）	a: 評論を読解するために必要な語句の量を増やすとともに、長文の評論を読み、二項対立を基本とした論の構成を理解する。 b[読]:論理展開の仕方や段落構成をもとに内容を捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c:論理の展開や構成から、本文の内容を的確に捉え、政治や文化における「である」価値と「する」価値について、考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	「未知と境界」について考える ［教材］ 「もしも宇宙に行くのなら」 （橳島次郎）	a:評論を読解するために必要な語句の量を増やし、本文の対比構造に注目して内容を理解し、筆者の主張を的確に捉えている。 b[書]:論理の展開や構成から本文の内容を把握し、その内容に関する様々な情報の妥当性や信頼性を吟味したうえで、自分の考えをまとめている。 c:論旨を的確に把握し、自分自身と他者との関係について、多様な観点や異なる価値観と結び付け、自分の考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 ノート
	評論解析 B-3 ［教材］ 「博物館というメディア」 （村田麻里子）	a:効果的な表現に込められた筆者の意図を汲み取り、対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ b[書]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c:本文内容の正しい理解を踏まえて、日本における博物館の意味についての筆者の主要な見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 課題	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間